



内部東小学校だより

自然を愛し、人間性豊かにたくましく生きる子どもの育成

四日市市立内部東小学校
令和2年5月19,20日
第4号



いよいよ、スタートです

今週の分散登校に続き、来週から本格的に学校での教育活動を再開します。

まずは、臨時休業期間、ご家庭においてお子様の健康を守り、生活リズムを整え、学びを支援するお取り組みに深く感謝申し上げます。緊急事態宣言は解除されたものの、まだまだ油断はできません。学校においても、引き続きお子様の健康と学びを守るべく、取り組みを進めてまいります。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

自覚ひしひし、6年生

5年生以下に先立ち、18日（月）に6年生が登校しました。教室での密集を避けるため、教室の1.5倍の広さがある家庭科室、図工室、視聴覚室を使って学級指導を行いました。1限目には体育館で学年集会を行い、今後の生活について話を聞いたり委員会やクラブ活動などの必要なことを決めたりしました。臨時休業明けで久しぶりの集団生活である上に、密を避けるために間隔をあけ体育館いっぱいに広がった状態でも、背筋を伸ばし、集中して担任の話を聞く姿はとても立派で、最高学年としての自覚を感じました。私からも、これまでとは違った取り組みが必要になる今年、下級生を引っ張って行ってほしいと話しました。今後の6年生の活躍に期待しています。



新型コロナウイルスの対策について

学校では4月に続き感染及びその拡大を可能な限り低減しつつ教育活動を進めてまいります。ご家庭におかれましても引き続き毎朝の体調チェック（検温など）にご協力をお願いいたします。

学校では、感染防止対策の方法について、教育委員会からの指示に加え、学校医及び学校薬剤師にご相談し、マスク着用の在り方や机の配置、手洗いの頻度やタイミングについて決定しています。



学校薬剤師による実地指導

マスク着用を継続します

原則として登下校時及び室内ではマスク着用を継続します。座席間に十分な距離及び適切な換気が行われている場合、マスク着用は必ずしも必要ないとされていますが、感染リスクを低減するため、継続します。一方で、マスクをしていることによる熱中症も心配されることから、体育及び屋外での活動については、マスクを外してもよいこととします。マスクの付け外しによる紛失等を防止するため、マスクの記名及び外したマスクをしまう場所のお子様との確認について、ご協力をお願いします。

※裏面に続きます

手洗いを徹底します

登校後すぐ、休み時間後、給食前、共有する学習遊具の使用前後など、手洗いを徹底します。また、手洗いに並ぶ際に密になることを避けるため、手洗い前には並ぶ場所に足形マークを設置しました。

ご家庭におかれましても、手洗いの必要な場面や正しい手洗いの方法について、お子様と話し合っていただければ幸いです。

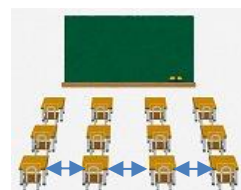
また、**下校後**も手洗いをを行うよう、ご家庭での声かけをお願いいたします。



『感染リスク』を低減する取り組みを行います

「できることは全部やる」を合言葉に、以下のような取り組みを行います。

- ・ 子どもたちの間隔が密にならないよう、座席間の距離を可能な限り確保する。
- ・ グループやペア学習、向かい合つての座席などリスクのある形態を避ける。
- ・ 換気時は窓を全開し、エアコン使用時も常時少し窓を開け、換気を徹底する。
- ・ 「『距離をとる』ことを意識させる呼びかけ」＋「室内・登下校時のマスク着用」を行う。
- ・ 体育科で組み合ったり密集したりする運動を避け、授業前後の手洗いを行う。
- ・ 音楽科の歌唱は換気と間隔の確保を十分にし、人の顔が見える方を向いた歌唱を避ける。
- ・ 家庭科の調理実習、クラブ活動のおやつ作りなど、感染リスクの高い活動は当面行わない。
- ・ 児童が共用する教材等については、定期的に消毒を行い、使用前後の手洗いを行う。



※今後も学校医・学校薬剤師の指導を受け、必要に応じて強化・見直しを行います。

※給食時の取り組みについては、別紙にてお知らせしています。

差別や偏見を防止する取り組みを行います

6年生の学年集会では、差別や偏見につながる言葉や態度について考えさせる話をしました。

今後も各学年の発達段階に応じて、担任から差別や偏見の防止につながるメッセージを送るとともに、道徳や特別活動等の時間で差別や偏見を防止する指導を行っていきます。この取り組みには、感染防止と併せて、お家の方のご理解・ご協力が必要だと考えています。

以下のようなことがあれば、遠慮なく学校へご連絡ください。

- ・ 子どもの言葉や態度、お友だちとのやり取りで気になることがあった。
- ・ こういう時、子どもにどう話したらいいか、どう伝えたらよいか、迷ってしまった。
- ・ 子どもの様子についてスクールカウンセラーなどに相談したい。

今こそ、学びの時

今までにない、まさに「未曾有の事態」の中に、子どもたちは生きています。この大変な状況の中だからこそ、正しく判断し、「人間性豊かにたくましく生きる」力を子どもたちにつけられればと考えています。この経験から学んだことは、必ず今後の子どもたちの人生に活けると信じて、取り組んでまいります。保護者の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

次号では「学びの保障」についてお知らせします。